

平成28年度 第1回河北町総合教育会議会議録

平成28年5月6日（金曜日）

1 出欠席者氏名

河北町長 田宮栄佐美 河北町教育長 原田孝夫

河北町教育委員 真石由美子 板坂憲助 高木茂宏 小林真公子

欠席者（0名）

2 事務局職員の職氏名

学校教育課長 佐藤晃一 生涯学習課長 矢作勲

教育主幹(兼)指導主事 大竹 純 課長補佐(兼)管理係長 田川美和子

3 日 程

平成28年5月6日（金）午後3時開会、開議 河北町役場3階・委員会室

1 開 会

2 田宮町長あいさつ

3 協 議

(1) 第2次河北町教育振興計画の策定について

4 閉 会

1 開 会

○田川課長補佐(兼)管理係長

ただいまより、平成28年度 第1回河北町総合教育会議を開催いたします。初めに田宮町長よりご挨拶をお願いします。

2 あいさつ

○田宮町長

皆さんお集まりいただきましてありがとうございます。教育委員会制度が大きく変わり町長もいた教育会議となっており、昨年の6月に基本方針をまとめていただき、それは今年度3月までという方針で決めていただきました。今年4月からは新年度として町の7次総合計画も作られたわけで、これに対して教育分野にわたっての総合的な教育振興計画を今年度中に作っていただくという第1回目の会議となります。将来を見据えた中で、今後10ヵ年という長いス

パンではありますが現段階で議論を深めていただきながら河北町の教育振興のための計画を策定いただきたくよろしくお願いします。今日は初めてなので、これからの取り組み、内容を説明し申し上げご理解をいただき進めていきたいのでよろしくお願いします。

○田川課長補佐(兼)管理係長

それでは3協議に入らせていただきます。協議事項は第2次河北町教育振興計画の策定についての1件になります。座長を設置要綱第3条により田宮町長をお願いします。

3 協議

○田宮町長

(1)第2次河北町教育振興計画の策定について説明をお願いします。

○佐藤学校教育課長：資料により説明

資料：河北町教育振興計画策定体制（案）

河北町教育振興計画策定スケジュール（案）

第2次河北町教育振興計画策定委員会委員名簿（案）

第2次河北町教育振興計画策定会議委員名簿（案）

第2次河北町教育振興計画事務局（案）

第2次河北町教育振興計画（案）

○田宮町長

ただいま、説明がありました案件ごとに内容をみていきたいと思います。

P1体制（案）について意見のある方はお願いします。

○原田教育長

策定アドバイザーは、どのぐらいの規模を考えているのですか。

○佐藤学校教育課長

町でお願いしている方々がありますが、今、人選を諮っているところであります。

○田宮町長

諮問というかたちをとるのですか。

○原田教育長

そうです。

○田宮町長

それでは、こういった案で体制を組んでいくということでご了承いただけますか。（全員了承）

○田宮町長

次にP2の策定スケジュールの中でのご意見等があればお願いします。

なければこれでいいでしょうか。(全員了承)

○田宮町長

それではP3策定委員会委員について。会議は何回予定しているのですか。

○佐藤学校教育課長

5回です。

○田宮町長

7番委員として区長会からで、誰がするかは区長会へ任せたほうが良いと思うがいかかでしょうか。

○原田教育長

できれば谷地地区から出してもらったほうがいいのではないのでしょうか。

○田宮町長

谷地支部から出してもらったほうがいいでしょうか。(全員賛成)

次に具体的な振興計画の中身策定についてお願いします。

○原田教育長

今回の後期基本計画の中で明らかにされていることが二つあり、ひとつは学区再編で検討機関を設置ということ。もうひとつは学校教育と生涯学習の両方にわたって外国語教育について。学区再編のための検討機関の設置を基本方針のどこに位置づけていくのですか。

○佐藤学校教育課長

Ⅲ番です。

○原田教育長

検討機関の中身については。

○佐藤学校教育課長

まだ、そこまでは書いていません。ただ項目として見直しということで、結局は、検討機関を設けて検討していくという文章にはなると思います。

○田宮町長

検討していくというのは、最終的に10年後になってしまいます。いずれにしても10年以内には方向性をきちっと定めます。今回、教育振興計画の中で示しますよという方針でいっているわけなので、この期間中に学区はこうするのだという方針は、中に打ち出してほしいという気持ちでいます。いつの時期にこういったことを申し上げたほうがいいのかということがあり

ました。これまでのアンケート調査等からしても、非常に学区に対してみなさんシビアであります。ある程度、こちらから示していく必要があるのかなという気持ちは持っていました。

○原田教育長

どの程度まで表現することになるか、とは思いますが、少なくとも現状をみますと谷地地区は何とかしなければなりません。

○田宮町長

私は児童数の不均衡を是正していかなければならないと思っています。

○原田教育長

それに対して意見もでてくるとは思いますが、それからの話し合いになると思います。

○田宮町長

西部も大きな課題であります。東根では、それも学区を決めてのことだそうですが。

○板坂委員

最初は500人規模を3つ作る計画だったようです。

○田宮町長

区長さん方に話をすると大きい学校にいった方がいいのではないかという意見もあります。

○原田教育長

親御さん方は態度を鮮明にしたくないようなところもあるようです。逆に町で方針を打ち出したほうが保護者にとってはいいのではないかと思います。

○田宮町長

保護者にとっては、そういう雰囲気が強く感じられます。

○高木委員

今後、西部の人口はだんだん減っていくのですか。

○田宮町長

減っていくので、学校と古佐川の間に低層住宅をつくるという団地化計画がありました。しかし、自分たちでという気運づくりがなかなかできませんでした。

○原田教育長

出生数と自然減もあり、増えることはあまり期待できないと思います。

○板坂委員

スーパー移転に伴い、新たな団地化計画はないのですか。

○田宮町長

南部地区になります。10町歩のうち4町歩を住宅地にするという内容です。ヤマザワが移転します。地権者への説明も終わっているようです。そして中央のほうに健康福祉・介護・医療のゾーンを造って東側が住宅団地ということであります。南部地域は増える可能性はあります。北谷地は花ノ木工業団地が用途変更になりました。プールの跡地もあります。

新たな団地形成等により南部は増えると思います。将来のことを考えたときに英語教育のほうも全面的にだしていただいたので、その英語教育のあり方として一施設の学校をどうしたらいいのかということ等も議論していただければと思います。

○原田教育長

たとえば西部小学校を拠点として英語教育をするとか。そういった議論を、振興計画のなかで策定していったほしいです。

○田宮町長

最も基本となる考え方は、こちらから出していないといけないと思います。幼児教育については一通り整理がなっている状況だと思っています。

○原田教育長

教育振興計画の中では、幼児教育施設と小学校の連携ということでは書かせていただくが、幼児教育については触れないで、幼児教育の中身については、補助金等もあるので福祉全体の中で捉えていかないといけないと思います。

○田宮町長

ポイントを捉えていかなければいけないと思うが項目等、今日、初めてなので、いろいろ見ていただきながら次回にむけてお願いします。主幹からは何かありませんか。

○大竹教育主幹(兼)指導主事

文言については体言止めで統一したほうがいいと思います。

今、田宮町長からあった学区についても方向性を明記するとして、世の中を、あまりぐらつかせない、たとえば実施は平成30何年度新入生からとか配慮したほうがいいのではないのでしょうか。それが全て主要施策の評価に繋がります。評価の取扱いについて第4章でまとめて書いてということですがそれでいいのでしょうか。

○田宮町長

少なくとも前期5ヵ年、後期5ヵ年後の前期分後期分の表記はしなくてはならないのではないでしょうね。

○原田教育長

今回の計画の中で、学区の見直しについては谷地地区の学区の再編を考えていくということ
明らかにしていくということで。

○田宮町長

それは明らかにしてもらって。現状で中部小学校は、特別教室を普通教室に3つ変えています。
西郡管内で一番おおきな学校とはいえこの現状では行政としては。良い方向付けを示してほし
いと思います。他に何かないでしょうか。なければ、今、話しになったことを心におきながら
進めていくことをお願いします。

○田川課長補佐(兼)管理係長

これで平成28年度第1回河北町総合教育会議を閉会いたします。

4 閉会

～午後5時05分